

第3回 福祉を考える講演会

認知症がある高齢者は、平成24年の時点で高齢者の15%にあたる462万人で、認知症になる一歩手前の“認知症予備群(軽度認知障害)”は、約400万人と推計されています。認知症は、もはや誰にとっても身近な病気です。しかし、最近、認知症の研究が進み、認知症は、“予防できる”時代そして“治療できる”時代へと進んでいます。今回は、最新の研究成果を踏まえ、認知症の早期発見の方法と効果的な認知症予防の取組みについて、講演していただきます。

認知症は怖くない ～認知症の早期発見と効果的な予防～

講師 浦上克哉 先生

【経歴】 鳥取大学医学部教授。日本認知症予防学会理事長。
1983年鳥取大学医学部卒。アルツハイマー型認知症の研究を専門とし、診断マーカーの開発研究、外来での診察、治療、ケアなど総合的に認知症と取り組む。
認知症の早期発見と予防の第一人者
【主な著書】「認知症よい対応・わるい対応—正しい理解と効果的な予防」(日本評論社)、「認知症は怖くない 18のワケ」(JAF MATE社)など多数



日時 平成26年10月25日 [土] 13:30～15:30 13:00(開場)

会場 笠岡市保健センター ギャラクシーホール
岡山県笠岡市十一番町1-3 TEL:0865-62-5701

申込み
問合せ先

参加者氏名と連絡先を明記し、葉書又はFAXで申し込んでください。
参加費 無料
定員 500名
郵送：〒714-0044 岡山県笠岡市神島3626番地の7 社会福祉法人天神会 法人本部事務局
FAX：0865-67-6121 TEL：0865-67-4122

主催 社会福祉法人天神会

後援 笠岡市、笠岡市社会福祉協議会、笠岡医師会、山陽新聞社会事業団、笠岡放送、認知症の人と家族の会岡山県支部